

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

25.09.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2002年 9月 27日

出願番号  
Application Number: 特願 2002-282882

[ST. 10/C]: [JP 2002-282882]

出願人  
Applicant(s): 株式会社ギンガネット

RECD 13 NOV 2003

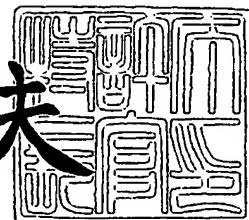
WIPO PCT

**PRIORITY DOCUMENT**  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH  
RULE 17.1(a) OR (b)

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

2003年10月30日

今井康夫



【書類名】 特許願  
【整理番号】 JP-2023355  
【提出日】 平成14年 9月27日  
【あて先】 特許庁長官 殿  
【国際特許分類】 G06F 17/60  
H04M 3/56  
H04Q 1/00

## 【発明者】

【住所又は居所】 大阪府岸和田市別所町3丁目26番3号

【氏名】 猿橋 望

## 【特許出願人】

【識別番号】 598013633

【氏名又は名称】 株式会社ギンガネット

## 【代理人】

【識別番号】 100079577

## 【弁理士】

【氏名又は名称】 岡田 全啓

【電話番号】 06-6252-6888

## 【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012634

【納付金額】 21,000円

## 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電話通訳補助装置およびそれを用いた電話通訳システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 異なる言語を使用する被通訳者と会話相手が用いる各ヘッドセットが接続される各ヘッドセット接続端子と、通訳者と通話するための電話機が接続される電話機接続端子と、前記各ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を合成して前記電話機接続端子に出力する合成手段と、前記電話機接続端子から入力される音声信号から切換信号を検出する検出手段と、前記検出手段により検出された切換信号に基づいて前記電話機接続端子から入力される音声信号を前記各ヘッドセット接続端子の指定された側に出力する切換手段とを備えたことを特徴とする、電話通訳補助装置。

【請求項2】 前記合成手段は、被通訳者の音声と会話相手の音声を音声多重合成することを特徴とする、請求項1に記載の電話通訳補助装置。

【請求項3】 請求項1または請求項2に記載の電話通訳補助装置を用いて電話通訳サービスを提供する電話通訳システムであって、

被通訳者端末と通訳者端末とを接続する接続手段と、前記接続手段により接続された各端末間の音声通信を行う通信手段とを備え、

前記接続手段は、通訳者が通訳可能な言語種別と通訳者の端末番号とが少なくとも登録される通訳者登録テーブルを備え、被通訳者端末からの呼出を受付る機能と、前記呼出を受付た被通訳者端末から被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別とを取得する機能と、前記取得された被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別とから前記通訳者登録テーブルを参照して通訳者の端末番号を取出す機能と、前記取出された通訳者の端末番号により通訳者端末を呼出す機能とを有することを特徴とする、電話通訳システム。

【請求項4】 前記通信手段は、前記被通訳者端末からの音声と前記通訳者端末からの音声を記録する機能と、前記記録された音声を端末からの要求により再生して送信する機能とを有することを特徴とする、請求項3に記載の電話通訳システム。

【請求項5】 被通訳者が用いるヘッドセットが接続される被通訳者ヘッド

セット接続端子と、会話相手が用いるヘッドセットが接続される会話相手ヘッドセット接続端子と、通訳者と通話するための電話機が接続される電話機接続端子と、前記被通訳者ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第1信号、前記会話相手ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第2信号として音声多重合成して前記電話機接続端子に出力する多重合成手段と、前記電話機接続端子から入力される音声信号を音声多重分離して第1信号を前記被通訳者ヘッドセット接続端子に、第2信号を前記会話相手ヘッドセット接続端子に出力する多重分離手段とを備えた被通訳者側電話通訳補助装置と、

前記会話相手の言語を前記被通訳者の言語に通訳する第1通訳者が用いるヘッドセットが接続される第1通訳者ヘッドセット接続端子と、前記被通訳者の言語を前記会話相手の言語に通訳する第2通訳者が用いるヘッドセットが接続される第2通訳者ヘッドセット接続端子と、被通訳者と通話するための電話機が接続される電話機接続端子と、前記電話機接続端子から入力される音声信号を音声多重分離して第1信号を前記第2通訳者ヘッドセット接続端子に、第2信号を前記第1通訳者ヘッドセット接続端子に出力する多重分離手段と、前記第1通訳者ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第1信号、前記第2通訳者ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第2信号として音声多重合成して前記電話機接続端子に出力する多重合成手段とを備えた通訳者側電話通訳補助装置とから構成され、

双方向同時通訳による電話通訳を行うことを特徴とする、電話通訳補助装置。

【請求項6】 被通訳者が用いるヘッドセットが接続される被通訳者ヘッドセット接続端子と、会話相手が用いるヘッドセットが接続される会話相手ヘッドセット接続端子と、通訳者と通話するための電話機が接続される電話機接続端子と、前記被通訳者ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第1信号、前記会話相手ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第2信号として音声多重合成して前記電話機接続端子に出力する多重合成手段と、前記電話機接続端子から入力される音声信号を音声多重分離して第1信号を前記被通訳者ヘッドセット接続端子に、第2信号を前記会話相手ヘッドセット接続端子に出力する多重分離手段とを備えた被通訳者側電話通訳補助装置を用いて、双方向同時通訳によ

る電話通訳サービスを提供する電話通訳システムであって、

被通訳者端末と、前記会話相手の言語を前記被通訳者の言語に通訳する第1通訳者が使用する第1通訳者端末と、前記被通訳者の言語を前記会話相手の言語に通訳する第2通訳者が使用する第2通訳者端末とを接続する接続手段と、

前記接続手段により接続された各端末間の音声通信を行う通信手段とを備え、

前記通信手段は、前記被通訳者端末からの音声信号を音声多重分離して第2信号を第1通訳者端末に送信し、第1信号を第2通訳者端末に送信する多重分離機能と、前記第1通訳者端末からの音声信号を第1信号、前記第2通訳者端末からの音声信号を第2信号として音声多重合成して前記被通訳者端末に送信する多重合成機能とを有することを特徴とする、電話通訳システム。

**【請求項7】** 前記接続手段は、通訳者が通訳可能な言語種別と通訳者の端末番号とが少なくとも登録される通訳者登録テーブルを備え、被通訳者端末からの呼出を受付る機能と、前記呼出を受付た被通訳者端末から被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別とを取得する機能と、前記取得された会話相手の言語種別と被通訳者の言語種別とから前記通訳者登録テーブルを参照して第1通訳者の端末番号を取出す機能と、前記取出された第1通訳者の端末番号により第1通訳者端末を呼出す機能と、前記取得された被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別とから前記通訳者登録テーブルを参照して第2通訳者の端末番号を取出す機能と、前記取出された第2通訳者の端末番号により第2通訳者端末を呼出す機能とを有することを特徴とする、請求項6に記載の電話通訳システム。

**【請求項8】** 前記通信手段は、前記被通訳者端末からの音声と前記第1通訳者端末からの音声と前記第2通訳者端末からの音声を記録する機能と、前記記録された音声を端末からの要求により再生して送信する機能とを有することを特徴とする、請求項6または請求項7に記載の電話通訳システム。

**【請求項9】** 前記通訳者登録テーブルは、通訳者を選択する選択情報が登録され、

前記接続手段は、前記被通訳者端末から通訳者の選択条件を取得する機能と、前記取得された通訳者の選択条件から前記通訳者登録テーブルを参照して該当する通訳者の端末番号を取出す機能とを有することを特徴とする、請求項3、請求

項4、請求項7、請求項8のいずれかに記載の電話通訳システム。

【請求項10】 前記通訳者登録テーブルは、通訳者が受付可能か否かを示す受付フラグが登録され、

前記接続手段は、前記通訳者登録テーブルの受付フラグを参照して受付可能な通訳者の端末番号を取出す機能を有することを特徴とする、請求項3、請求項4、請求項7、請求項8、請求項9のいずれかに記載の電話通訳システム。

【請求項11】 前記通訳者登録テーブルは、通訳者の課金情報を登録する機能を有し、

前記接続手段は、前記被通訳者端末が通訳サービスを受けている時間を計測する機能と、前記計測された時間と前記通訳者登録テーブルに登録されている課金情報とから利用料金を算出する機能とを有することを特徴とする、請求項3、請求項4、請求項7、請求項8、請求項9、請求項10のいずれかに記載の電話通訳システム。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

##### 【発明の属する技術分野】

本願発明は、異なる言語を使用する人同士が面談する際に電話により通訳サービスを受けるために使用する電話通訳補助装置およびそれを用いて通訳サービスを提供する電話通訳システムに関し、特に例えば海外旅行や海外ビジネスにおいて言葉の通じない外国人と会話する際に好適な電話通訳補助装置およびそれを用いた電話通訳システムに関する。

##### 【0002】

##### 【従来の技術】

従来、異なる言語を使用する人同士が面談する際に電話により通訳サービスを受けるものとして、例えば特開平10-32893や特開2002-73783において開示された通訳システムがあった。

これらは、被通訳者の電話端末の音声入力端子に分岐型のマイクまたはフォンマイクを取り付け、一方を被通訳者が装着し、他方を会話相手に装着してもらい、当該電話端末から通訳センターに電話することで被通訳者と会話相手と通訳セン

ターの通訳者との間で3者通話できるようにしたものである。これにより、通訳センターの通訳者は被通訳者と会話相手の発言を聴取することができ、被通訳者と会話相手は通訳者の音声を聴取することができる。通訳者は被通訳者の発言を聞いて会話相手の言語に通訳するとともに、会話相手の発言を聞いて被通訳者の言語に通訳することで、異なる言語を使用する被通訳者と会話相手が対談することができる。

### 【0003】

尚、海外旅行や海外ビジネスにおいてかかる通訳サービスを利用するためには、被通訳者は携帯電話と携帯電話の音声入力端子に接続可能な分岐型ヘッドセットを持参することが好ましく、通訳が必要なときに通訳センターに電話することで通訳サービスを受けることができる。この場合、被通訳者は携帯電話から自国の通訳センターに電話することで通訳サービスを受けることもできるが、通訳センターを各国に設けて各國語での受付を可能としておけば、被通訳者は旅行先の通訳センターに電話することで通訳サービスを受けることもできる。もちろん被通訳者が日本国内において外国人と面談するときに通訳サービスを利用することもできる。

### 【0004】

#### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、かかる従来の通訳システムでは、通訳者の音声は被通訳者と会話相手の両方に伝達されるため、通訳者が発言者の発言を同時通訳すると、通訳者の音声が発言者にも聞こえるため発言の妨げとなるという問題があった。特に、会話の内容が言語に関係なく共通のものである場合や、相手方に対する呼びかけ等を含む場合は会話が混乱してしまう恐れがある。

このため、従来の通訳システムでは、被通訳者の発言の終了を待って通訳者が通訳し、それに対する通訳者の通訳の終了を待って、会話相手が発言し、会話相手の発言の終了を待って通訳者が通訳することを繰返すことが必要とされ、迅速かつ的確な通訳を行うことは困難であった。

### 【0005】

それ故に、本願発明の主たる目的は、異なる言語を使用する人同士が面談する

際の電話通訳において、通訳者が発言者の発言中に同時通訳しても発言者の発言を妨げたり、会話を混乱させることなく、迅速かつ的確に通訳できるようにすることである。

### 【0006】

#### 【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の電話通訳補助装置は、異なる言語を使用する被通訳者と会話相手が用いる各ヘッドセットが接続される各ヘッドセット接続端子と、通訳者と通話するための電話機が接続される電話機接続端子と、各ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を合成して電話機接続端子に出力する合成手段と、電話機接続端子から入力される音声信号から切換信号を検出する検出手段と、検出手段により検出された切換信号に基づいて電話機接続端子から入力される音声信号を各ヘッドセット接続端子の指定された側に出力する切換手段とを備えたものである。

これにより、通訳者の音声は切換手段により被通訳者と会話相手のうち通訳者が端末から指定した側にのみ伝達されるので、通訳者が発言者の発言中に同時通訳しても発言者の発言を妨げたり、会話を混乱させることなく、迅速かつ的確に通訳できる。

### 【0007】

請求項2に記載の電話通訳補助装置は、請求項1に記載の電話通訳補助装置であって、合成手段は被通訳者の音声と会話相手の音声を音声多重合成するものである。

これにより、通訳者端末が音声多重分離機能を有するものであれば、通訳者は被通訳者の音声と会話相手の音声を区別して聞くことができ、通訳相手が明確となるので、会話の混乱を防止して、より迅速かつ的確な通訳が可能となる。

### 【0008】

請求項3に記載の電話通訳システムは、請求項1または請求項2に記載の電話通訳補助装置を用いて電話通訳サービスを提供する電話通訳システムであって、被通訳者端末と通訳者端末とを接続する接続手段と、接続手段により接続された各端末間の音声通信を行う通信手段とを備え、接続手段は通訳者が通訳可能な言

語種別と通訳者の端末番号とが少なくとも登録される通訳者登録テーブルを備え、被通訳者端末からの呼出を受付る機能と、呼出を受付た被通訳者端末から被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別とを取得する機能と、取得された被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別とから通訳者登録テーブルを参照して通訳者の端末番号を取出す機能と、取出された通訳者の端末番号により通訳者の端末を呼出す機能とを有するものである。

これにより、被通訳者端末からの呼出に基づいて、通訳者登録テーブルから被通訳者の言語と会話相手の言語との間を通訳可能な通訳者の端末番号が取出され、被通訳者端末と通訳者端末とが自動接続されるので、被通訳者は電話通訳補助装置を使用して通訳センターに架電することで簡便に電話通訳サービスを受けることができる。

#### 【0009】

請求項4に記載の電話通訳システムは、請求項3に記載の電話通訳システムであって、通信手段は被通訳者端末からの音声と通訳者端末からの音声を記録する機能と、記録された音声を端末からの要求により再生して送信する機能とを有するものである。

これにより、通訳サービス中の被通訳者と会話相手と通訳者の音声は記録され、端末からの要求により記録内容を確認できるので、その場で理解できなかったことを再確認したり、通訳サービスの内容を後にチェックしたりすることができる。

尚、音声の記録は、被通訳者端末へ送信する音声と通訳者端末へ送信する音声を音声多重合成して記録するようにしてもよい。これにより、音声多重分離機能を有する端末では、被通訳者端末に送信された音声と通訳者端末に送信された音声を分離して内容を確認できる。

また、被通訳者端末から入力される音声信号を被通訳者の音声と会話相手の音声に分離する分離手段と、通訳者端末から入力される音声信号から切換信号を検出する検出手段と、検出手段により検出された切換信号に基づいて通訳者端末から入力される音声信号を被通訳者向けと会話相手向けに切換える切換手段とを設け、被通訳者の音声と被通訳者向けの音声とを合成した音声と会話相手の音声と

会話相手向けの音声とを合成した音声を個別に記録し、端末からの指令により指定された側の音声を再生して送信するようにしてもよい。これにより、音声多重分離機能を有しない端末でも、被通訳者の言語と呼出先の言語を分離して内容を確認できる。

#### 【0010】

請求項5に記載の電話通訳補助装置は、被通訳者が用いるヘッドセットが接続される被通訳者ヘッドセット接続端子と、会話相手が用いるヘッドセットが接続される会話相手ヘッドセット接続端子と、通訳者と通話するための電話機が接続される電話機接続端子と、被通訳者ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第1信号、会話相手ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第2信号として音声多重合成して前記電話機接続端子に出力する合成手段と、電話機接続端子から入力される音声信号を音声多重分離して第1信号を被通訳者ヘッドセット接続端子に、第2信号を会話相手ヘッドセット接続端子に出力する分離手段とを備えた被通訳者側電話通訳補助装置と、会話相手の言語を被通訳者の言語に通訳する第1通訳者が用いるヘッドセットが接続される第1通訳者ヘッドセット接続端子と、被通訳者の言語を会話相手の言語に通訳する第2通訳者が用いるヘッドセットが接続される第2通訳者ヘッドセット接続端子と、被通訳者と通話するための電話機が接続される電話機接続端子と、電話機接続端子から入力される音声信号を音声多重分離して第1信号を第2通訳者ヘッドセット接続端子に、第2信号を前記第1通訳者ヘッドセット接続端子に出力する分離手段と、第1通訳者ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第1信号、第2通訳者ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第2信号として音声多重合成して電話機接続端子に出力する合成手段とを備えた通訳者側電話通訳補助装置とから構成され、双方向同時通訳による電話通訳を行うものである。

これにより、被通訳者のヘッドセットから入力される音声は第2通訳者のヘッドセットに出力され、第2通訳者のヘッドセットから入力される音声は会話相手のヘッドセットに出力され、会話相手のヘッドセットから入力される音声は第1通訳者のヘッドセットに出力され、第1通訳者のヘッドセットから入力される音声は被通訳者のヘッドセットに出力されるので、被通訳者には第1通訳者の音声

のみが伝達され、会話相手には第2通訳者の音声のみが伝達され、第1通訳者は会話相手の音声のみが伝達され、第2通訳者には被通訳者の音声のみが伝達され、各通訳者が発言者の発言中に同時通訳しても発言者の発言を妨げたり、会話を混乱させることなく、迅速かつ的確に双方向同時通訳による対談が行える。

### 【0011】

請求項6に記載の電話通訳システムは、被通訳者が用いるヘッドセットが接続される被通訳者ヘッドセット接続端子と、会話相手が用いるヘッドセットが接続される会話相手ヘッドセット接続端子と、通訳者と通話するための電話機が接続される電話機接続端子と、被通訳者ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第1信号、会話相手ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を第2信号として音声多重合成して電話機接続端子に出力する合成手段と、電話機接続端子から入力される音声信号を音声多重分離して第1信号を被通訳者ヘッドセット接続端子に、第2信号を会話相手ヘッドセット接続端子に出力する分離手段とを備えた呼出側の電話通訳補助装置を用いて双方向の電話通訳サービスを提供する電話通訳システムであって、被通訳者端末と会話相手の言語を被通訳者の言語に通訳する第1通訳者が使用する第1通訳者端末と、被通訳者の言語を会話相手の言語に通訳する第2通訳者が使用する第2通訳者端末とを接続する接続手段と、接続手段により接続された各端末間の音声通信を行う通信手段とを備え、通信手段は被通訳者端末からの音声信号を音声多重分離して第2信号を第1通訳者端末に送信し、第1信号を第2通訳者端末に送信する分離機能と、第1通訳者端末からの音声信号を第1信号、第2通訳者端末からの音声信号を第2信号として音声多重合成して被通訳者端末に送信する合成機能とを有するものである。

これにより、被通訳者のヘッドセットから入力される音声は第2通訳者端末に出力され、会話相手のヘッドセットから入力される音声は第1通訳者端末に出力され、第1通訳者端末から入力される音声は被通訳者のヘッドセットに出力され、第2通訳者端末から入力される音声は会話相手のヘッドセットに出力されるので、被通訳者には第1通訳者の音声のみが伝達され、会話相手には第2通訳者の音声のみが伝達され、第1通訳者には会話相手の音声のみが伝達され、第2通訳者には被通訳者の音声のみが伝達され、各通訳者が発言者の発言中に同時通訳し

ても発言者の発言を妨げたり、会話を混乱させることなく、迅速かつ的確に双方同時通訳による対談が行える。

#### 【0012】

請求項7に記載の電話通訳システムは、請求項6に記載の電話通訳システムであって、接続手段は通訳者が通訳可能な言語種別と通訳者の端末番号とが少なくとも登録される通訳者登録テーブルを備え、被通訳者端末からの呼出を受付る機能と、呼出を受付た被通訳者端末から被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別とを取得する機能と、取得された会話相手の言語種別と被通訳者の言語種別とから通訳者登録テーブルを参照して第1通訳者の端末番号を取出す機能と、取出された第1通訳者の端末番号により第1通訳者端末を呼出す機能と、取得された被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別とから通訳者登録テーブルを参照して第2通訳者の端末番号を取出す機能と、取出された第2通訳者の端末番号により第2通訳者端末を呼出す機能とを有するものである。

これにより、被通訳者端末からの呼出に基づいて、通訳者登録テーブルから呼出先の言語を被通訳者の言語に通訳する第1通訳者と被通訳者の言語を呼出先の言語に通訳する第2通訳者の端末番号が取出され、被通訳者端末と呼出先端末と第1通訳者端末と第2通訳者端末とが自動接続されるので、被通訳者は電話通訳補助装置を使用して通訳センターに架電することで簡便に双方同時通訳による電話通訳サービスを受けることができる。

#### 【0013】

請求項8に記載の電話通訳システムは、請求項6または請求項7に記載の電話通訳システムであって、通信手段は被通訳者端末からの音声と第1通訳者端末からの音声と第2通訳者端末からの音声を記録する機能と、記録された音声を端末からの要求により再生して送信する機能とを有するものである。

これにより、通訳サービス中の被通訳者と会話相手と第1通訳者と第2通訳者の音声は記録され、端末からの要求により記録内容を確認できるので、その場で理解できなかったことを再確認したり、通訳サービスの内容を後にチェックしたりすることができる。

#### 【0014】

請求項9に記載の電話通訳システムは、請求項3、請求項4、請求項7、請求項8のいずれかに記載の電話通訳システムであって、通訳者登録テーブルは通訳者を選択する選択情報が登録され、接続手段は被通訳者端末から通訳者の選択条件を取得する機能と、取得された通訳者の選択条件から通訳者登録テーブルを参照して該当する通訳者の端末番号を取出す機能とを有するものである。

これにより、通訳者登録テーブルに登録されている通訳者の中から被通訳者と会話相手との面談の目的に適した人を選択できる。通訳者を選択する選択情報には、性別・年齢・居住地・専門分野・保有資格等に関する情報が含まれる。

尚、通訳者登録テーブルに通訳者の言語別の通訳レベルを登録するようすれば、利用者は目的とする言語間の通訳について希望するレベルの通訳者を選択することができ、通訳者は自分が対応可能な言語を多数登録できるので、柔軟で効率的な通訳者の選定が可能となる。

また、双方向同時通訳による電話通訳システムでは、通訳者登録テーブルに登録する言語別の通訳レベルとして、ヒアリングのレベルとスピーキングのレベルとを区分して登録することにより、第1通訳者に最適な人と第2通訳者に最適な人とを個別に選定することができ、更に柔軟で効率的な通訳者の選定が可能となる。

#### 【0015】

請求項10に記載の電話通訳システムは、請求項3、請求項4、請求項7、請求項8、請求項9のいずれかに記載の電話通訳システムであって、通訳者登録テーブルは通訳者が受付可能か否かを示す受付フラグが登録され、接続手段は通訳者登録テーブルの受付フラグを参照して受付可能な通訳者の端末番号を取出す機能を有するものである。

これにより、通訳者が通訳者登録テーブルに受付可能か否かを登録しておくことで、受付可能な通訳者を自動的に選択して呼出せるので、無駄な呼出を排除して、より柔軟で効率的な電話通訳サービスを提供できる。

#### 【0016】

請求項11に記載の電話通訳システムは、請求項3、請求項4、請求項7、請求項8、請求項9、請求項10のいずれかに記載の電話通訳システムであって、

通訳者登録テーブルは通訳者の課金情報を登録する機能を有し、接続手段は被通訳者端末が通訳サービスを受けている時間を計測する機能と、計測された時間と通訳者登録テーブルに登録されている課金情報とから利用料金を算出する機能とを有するものである。

これにより、通訳者登録テーブルに通訳者の課金情報を登録しておくことにより、電話通訳サービスに対して適正な利用料金を課金することができる。

尚、通訳者登録テーブルには、通訳者の言語別の通訳レベルが登録され、別途設けた通訳レベルと時間単価の関係を規定した課金テーブルを用いて課金情報を得るようにもよい。これにより、通訳者のレベルに応じた適正な利用料金を課金できる。

#### 【0017】

本願発明の上述の目的、その他の目的、特徴および利点は、図面を参照して行う以下の発明の実施の形態の詳細な説明から一層明らかとなろう。

#### 【0018】

##### 【発明の実施の形態】

図1に本願発明の第一実施形態にかかる電話通訳補助装置のブロック構成図を示す。図において、10は電話通訳補助装置であり、被通訳者Aが使用するヘッドセットを接続するヘッドセット接続端子16と、会話相手Bが使用するヘッドセットを接続するヘッドセット接続端子17と、通訳者と通話するための電話機1を接続する電話接続端子18を有し、2つのヘッドセット接続端子16、17から入力される音声信号を合成して電話接続端子18に出力する合成回路12と、電話接続端子18から入力される音声信号を2つのヘッドセット接続端子16、17に切換えて供給する切換回路14と、電話接続端子18から入力される音声信号から切換信号を生成する検出回路15とを備える。

#### 【0019】

検出回路15は、電話接続端子18から入力される音声信号のトーン信号を検出する機能を有し、通訳者Cが通話中に通訳者Cの使用する電話機2のダイアルを押したときに、押された番号を検出して切換回路14に切換信号を送る。例えば、会話相手Bの言語を被通訳者Aに対して通訳する場合にダイアル1を、被通

訳者Aの言語を会話相手Bに対して通訳する場合にダイアル2を押すものとすると、検出回路15は、ダイアル1のトーン信号を検出したときにPB-Aの信号を切換回路14に送り、ダイアル2のトーン信号を検出したときにPB-Bの信号を切換回路14に送る。

切換回路14は、検出回路15からPB-Aの信号を受けたときは、電話接続端子18から入力される通訳者Cの音声信号を被通訳者Aのヘッドセットが接続されているヘッドセット接続端子16に伝達し、検出回路15からPB-Bの信号を受けたときは、電話接続端子18から入力される通訳者Cの音声信号を会話相手Bのヘッドセットが接続されているヘッドセット接続端子16に伝達する。

#### 【0020】

被通訳者Aの音声と会話相手Bの音声は、合成回路12で合成されて通訳者Cに伝達されるので、通訳者Cは両者の音声を電話機2で聞くことができる。また、通訳者Cの音声は、通訳者がダイアル1を押してから発声することにより被通訳者Aに伝達され、通訳者がダイアル2を押してから発声することにより会話相手Bに伝達される。

これにより、通訳者Cは、被通訳者Aの発言を聞きながら同時通訳し、その通訳音声を会話相手Bにのみ伝達することができ、会話相手Bの発言を聞きながら同時通訳し、その通訳音声を被通訳者Aにのみ伝達することができる。

このように、通訳者の音声は通訳者が端末から指定した通訳先にのみ伝達されるので、発言者の発言の妨げにならず、会話の混乱を防止して、迅速かつ的確な通訳が可能となる。

#### 【0021】

尚、電話通訳補助装置10は電話機1に接続して通訳サービスを受けるものであり、接続される電話機は外部音声入出力機能を有するものであればどのような電話機でもよいが、海外旅行や海外ビジネス等の移動中に通訳サービスを受けることを想定するならば、無線式の携帯電話器に接続できることが好ましい。

#### 【0022】

上記実施形態では、通訳者Cの音声を被通訳者Aと会話相手Bのいずれか通訳者端末2から指定された側に供給する切換手段として切換回路14を用いたが、

スイッチではなく不要な側への音声信号の供給を抑圧する減衰回路を用いてよい。尚、その場合に、不要な側への音声信号の供給を完全に遮断せず、ある程度聞こえるように低減させてもよい。このようにすれば、被通訳者または会話相手は自己の音声が通訳者によって相手方に対して通訳されていることを確認しながら発言できる。

#### 【0023】

上記実施形態では、合成回路12は、2つのヘッドセット接続端子16, 17から入力される音声信号を単に合成して電話接続端子18に出力するものとして説明したが、2つの音声信号を音声多重合成するようにしてもよい。例えば、ヘッドセット16からの音声信号を左信号、ヘッドセット17からの音声信号を右信号としてステレオ合成するようにすれば、通訳者Cに使用する電話機2が音声多重分離機能を有するものであれば、ヘッドセット2Cの左からは被通訳者Aの音声が聞こえ、右からは会話相手Bの音声が聞こえるので、聞こえてきた音声がどちらからの音声かを明瞭に判断でき、通訳先の指定も確実に行うことができるようになるので、更に迅速かつ的確な通訳が実現される。

#### 【0024】

図2に本願発明の第一実施形態にかかる電話通訳補助装置を用いて通訳サービスを提供する電話通訳システムのシステム構成例を示す。図において、100は通訳サービスを提供する通訳センターに設置される電話通訳システムであり、公衆電話回線40を介して、被通訳者が使用する電話端末（以下、被通訳者端末と呼ぶ）1と、通訳者が使用する電話端末（以下、通訳者端末と呼ぶ）2とを接続し、被通訳者と会話相手の面談を通訳者が電話を介して通訳する電話通訳サービスを提供するものである。

#### 【0025】

電話通訳システム100は、被通訳者端末と接続するための被通訳者端末用回線インターフェース（以下、インターフェースはI/Fと略す）120と、通訳者端末と接続するための通訳者端末用回線I/F140とを備え、それぞれ各端末との音声の入出力を行う音声入出力装置122、142が接続されている。

#### 【0026】

被通訳者端末用音声入出力装置122の音声入力には、通訳者端末用音声入出力装置142からの音声出力と被通訳者端末用音声テロップメモリ126からの音声出力を合成する音声合成装置124が接続され、通訳者端末用音声入出力装置142の音声入力には、被通話者端末用音声入出力装置122からの音声出力と通話者端末用音声テロップメモリ146からの音声出力を合成する音声合成装置144が接続されている。

#### 【0027】

電話通訳システム100は、通訳者が使用する通訳者用端末の端末番号を登録する通訳者登録テーブル112を有し、各回線I/F120、140、各音声入出力装置122、142、各音声合成装置124、144、各テロップメモリ126、146のそれぞれと接続される制御装置110を備え、被通訳者端末からの呼出を受付る機能と、被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別とを取得する機能と、通訳者の選定条件を取得する機能と、当該取得された言語種別と選定条件とから通訳者登録テーブル112を参照して通訳者の端末番号を取出す機能と、当該取出した端末番号によって通訳者端末を呼出す機能とによって、被通訳者端末と通訳者端末を接続する機能を提供する。

#### 【0028】

各音声合成装置124、144の入力には、それぞれ被通訳者端末用音声テロップメモリ126、通訳者端末用音声テロップメモリ146が接続されており、各音声テロップメモリ126、146の内容は制御装置110から設定できるようになっている。これにより、通訳を介した電話対談を設定する際に、各端末に対するメッセージを各音声テロップメモリ126、146に設定することで、各端末に対して必要な音声メッセージを出力して電話接続を確立することができる。

#### 【0029】

次に、通訳を介した電話対談を設定するための制御装置110による接続処理について説明する。

処理に先だって、制御装置110の通訳者登録テーブル112には、適当な端末（図示省略）から、通訳者の選定情報と各通訳者が使用する端末の端末番号を

登録しておく。図3に、通訳者登録テーブル112に登録される登録項目の例を示す。通訳者の選定情報とは、利用者が希望する通訳者を選定するための情報であり、性別・年齢・対応可能な言語・居住地・専門分野等を登録する。対応可能な言語については、言語別に通訳者のレベルを登録し、利用者が目的とする言語間で希望するレベルの通訳者を選定できるようにした。ここでは、通訳のレベルとして、上級は1、中級は2、初級は3で表している。居住地については、利用者が特定の地域についての地理的知識を有する人を希望する場合を想定したもので、ここでは郵便番号によって地域指定できるようにした。専門分野については、対談の内容が専門的なものとなる場合に利用者がその分野の専門知識を有する人やその分野の話題に明るい人を希望する場合を想定したもので、ここでは通訳者が得意とする分野を政治・法律・ビジネス・教育・科学技術・医療・語学・スポーツ・趣味等に分けて登録できるようにした。尚、専門分野は多岐にわたるので、階層的に登録しておいて選択時に利用者の希望するレベルでサーチするようにしても良い。

この他に、各通訳者が保有する資格を登録しておき、利用者が希望する資格保有者を通訳に選定できるようにしてもよい。

#### 【0030】

端末番号については、ここでは公衆電話回線に接続する電話端末を対象としているので、端末の電話番号を登録することになる。

また、通訳者登録テーブル112には、当該通訳者が通訳を受付可能か否かを示す受付フラグが設けられており、登録された通訳者が自己の端末から通訳センターを呼出し、ダイアルパッドを使用してコマンド入力することで、受付フラグをセットしたりリセットしたりすることができるようとした。これにより、登録された通訳者は通訳を受付可能なときにのみ通訳者登録テーブルの受付フラグをセットすることにより無駄な呼出を排除でき、利用者も対応可能な通訳者を迅速に選択することができる。

#### 【0031】

図4に、制御装置110による接続処理の処理フローを示す。電話通訳システム100は、被通訳者が被通訳者端末用回線I/Fの電話番号に架電することに

より通訳サービスの申込を受付け、通訳者端末を呼出して電話通訳サービスのための接続を確立する。

図のように、最初に、被通訳者端末用回線I/F120に呼出があったことを検出する(S100)。呼出が検出されたら、被通訳者端末に対して被通訳者の言語種別の入力を要求するメッセージを出力する(S102)。これは、例えば「日本語を話す方は、1#を押して下さい」「If you speak English, please press 2#」…のような音声メッセージを被通訳者用音声テロップメモリ126に設定することにより行う。これにより、以降の被通訳者端末および通訳者端末に対するメッセージは、取得された被通訳者の言語種別により行う。これに対して被通訳者が入力した被通訳者の言語種別を取得する(S104)。

### 【0032】

次に、被通訳者端末に対して会話相手の言語種別の入力を要求するメッセージを出力する(S106)。これは、例えば被通訳者が日本人の場合は「会話相手の言語が英語のときは1#、ドイツ語のときは2#、…を押して下さい」のような音声メッセージを被通訳者用音声テロップメモリ126に設定することにより行う。これに対して被通訳者が入力した会話相手の言語種別を取得する(S108)。

また、被通訳者端末に対して通訳者の選定条件の入力を要求するメッセージを出力する(S110)。これは、例えば「通訳者の性別の希望が男性のときは1#、女性のときは2#、いずれでもよいときは0#を押して下さい」「通訳者の年齢が20歳未満を希望するときは1#、20歳から39歳は2#、40歳以上は3#、いずれでもよいときは0#を押して下さい」「地域指定を希望されるときは郵便番号と#を、指定されないときは0#を押して下さい」「専門分野を指定されるときは、政治は1、法律は2、ビジネスは3、教育は4、科学技術は5、…を押して、#を押して下さい」「通訳のレベルを指定されるときは、上級は1#、中級は2#、初級は3#、いずれでもよいときは0#を押して下さい」のような音声メッセージを被通訳者用音声テロップメモリ126に設定することにより行う。これに対して被通訳者が入力した通訳者選定条件を取得する(S112)。

**【0033】**

次に、通訳者登録テーブル112を参照し、被通訳者の言語と会話相手の言語において指定された通訳レベルを有し、性別・年齢・居住地・専門分野が取得された選定条件に合致し、受付フラグがセットされている通訳者を選定する（S114）。このとき、選定された通訳者についての登録情報を音声メッセージで通知して、被通訳者に通訳者の最終選定をさせるようにしてもよい。また、通訳者登録テーブル112に登録される通訳者の時間単価（後述）を音声メッセージで知らせるようにしてもよい。これにより、利用者は通訳サービスに要する費用を考慮して適切な通訳者を選択することができる。

**【0034】**

次に、通訳者登録テーブル112から当該選定された通訳者の端末番号を取出して呼出す（S116）。このとき、通訳者端末に対して被通訳者の個人情報や被通訳者と会話相手の言語種別や通訳者の選定条件等を通訳者端末用音声テロップ146により通知し、通訳を受けるか否かを確認するようにしてもよい。尚、被通訳者の個人情報は、例えば当該通訳サービスを会員制とし、あらかじめ登録された会員情報を利用すればよい。

そして、当該通訳者端末から応答があったときは（S118）、電話通訳サービスが開始される（S120）。

**【0035】**

S118で選定された通訳者端末から応答がない場合は、次候補があるか否かを判断し（S122）、次候補がある場合はS114に戻って繰返し、次候補がない場合は被通訳者端末に対してその旨のメッセージを通知して切断する（S124）。

**【0036】**

制御装置110には、通訳サービスの利用料金を計算するためのタイマー（図示省略）を備えており、接続が開始されてから切断されるまでの時間が計測される。また、通訳者登録テーブル112には、通訳者の時間単価が登録され（図示省略）、通訳サービスの終了後にタイマーにより計測された時間と通訳者登録テーブル112に登録された時間単価とから利用料金が演算されて課金データベー

ス114に登録され、後日利用者に対して請求される。

尚、通訳者の時間単価は、通訳者の通訳レベルと時間単価の関係を規定した課金テーブルを別途設け、通訳者登録テーブル112に登録された通訳レベルから課金テーブルを参照して求めるようにしてもよい。

#### 【0037】

上記実施形態では、選択された通訳者端末から応答がない場合は単に被通訳者にその旨を通知して切断するとして説明したが、通訳予約テーブルを設けて被通訳者の端末番号を登録し、当該選択された通訳者からの応答があったときに被通訳者端末に通知して電話通訳サービスを設定するようにしてもよい。

#### 【0038】

上記実施形態では、被通訳者に対して通訳者の選定のために被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別を入力させるようにしたが、被通訳者の言語毎もしくは被通訳者の言語と会話相手の言語の組合せ毎に通訳センターの電話番号を定めておくことで被通訳者または会話相手の言語種別を取得するようにしてもよい。また、上記実施形態では、被通訳者に対して通訳者の選定のために通訳者の選定条件を入力させるようにしたが、最初に通訳者の選定条件を指定するか否かを問合せ、指定しないことを選択したときは入力された言語種別のみによって通訳者を選定するようにしてもよい。

また、緊急時は被通訳者が最初に特定のダイアル番号を押すことで緊急対応専門の通訳者を自動的に呼出すようにしてもよい。

#### 【0039】

上記実施形態では、電話通訳システム100は回線I/F、音声入出力装置、音声合成装置、制御装置等から構成されるものとして説明したが、これらは必ずしも個別のH/Wで構成する必要はなく、コンピュータを用いてソフトウェア処理によって各装置の機能を実現するように構成してもよい。

#### 【0040】

上記実施形態では、通訳者端末2は被通訳者端末1と同様に通訳センターの外にあって、通訳センターから公衆電話回線を介して呼出されて通訳サービスを提供するものとして説明したが、本願発明はこれに限定されるものではなく、通訳

者端末の一部または全部を通訳センター内に設けて、通訳センターから通訳サービスを提供するようにしてもよいことはいうまでもない。

尚、上記実施形態では、通訳者は公衆電話回線に接続可能な端末を有する限り何處にいても通訳サービスに参加できるので、前述の受付フラグを利用して時間の空いたときを有効に活用して通訳サービスを提供できる。このようにすることで、人員確保の難しい通訳サービスを効率的かつ安定的に運用することができるようになる。

#### 【0041】

上記実施形態では、1人の通訳者によって呼出先の言語を被通訳者の言語に通訳することと被通訳者の言語を呼出先の言語に通訳することの両方を行っていたが、会話相手の言語を被通訳者の言語に通訳する第1通訳者と被通訳者の言語を会話相手の言語に通訳する第2通訳者とを個別に設定して、双方向同時通訳を行うようにすることもできる。

図5に、双方向同時通訳を実現する本願発明の第二実施形態にかかる電話通訳補助装置のブロック構成図を示す。図において、20は被通訳者側が用いる被通訳者側電話通訳補助装置であり、被通訳者Aが使用するヘッドセットを接続するヘッドセット接続端子26と、会話相手Bが使用するヘッドセットを接続するヘッドセット接続端子27と、通訳者と通話するための電話機1を接続する電話接続端子28を有し、ヘッドセット接続端子26から入力される音声信号を第1音声信号、ヘッドセット接続端子27から入力される音声信号を第2音声信号として音声多重合成して電話接続端子28に出力する多重合成回路22と、電話接続端子28から入力される音声信号を音声多重分離して第1音声信号をヘッドセット接続端子26に供給し、第2音声信号をヘッドセット接続端子27に供給する多重分離回路24とを備える。

#### 【0042】

一方、30は通訳者側が用いる通訳者側電話通訳補助装置であり、会話相手Bの言語を被通訳者Aの言語に通訳する第1通訳者Cが使用するヘッドセットを接続するヘッドセット接続端子36と、被通訳者Aの言語を会話相手Bの言語に通訳する第2通訳者Dが使用するヘッドセットを接続するヘッドセット接続端子3

7と、通訳者の使用する電話機2を接続する電話接続端子38を有し、電話接続端子38から入力される音声信号を音声多重分離して第1音声信号をヘッドセット接続端子37に供給し、第2音声信号をヘッドセット接続端子36に供給する多重分離回路32と、ヘッドセット接続端子36から入力される音声信号を第1音声信号、ヘッドセット接続端子37から入力される音声信号を第2音声信号として音声多重合成して電話接続端子38に出力する多重合成回路34とを備える。

#### 【0043】

従って、被通訳者Aの音声は第2通訳者Dに伝達され、第2通訳者Dの音声は会話相手Bに伝達され、会話相手Bの音声は第1通訳者Cに伝達され、第1通訳者Cの音声は被通訳者Aに伝達される。

これにより、第1通訳者Cが会話相手Bの発言を聴いて同時通訳しても会話相手Bの発言は妨げられず、第2通訳者が被通訳者Aの発言を聴いて同時通訳しても被通訳者Aの発言は妨げられず、通訳者にも不要な音声が伝達されないので、会話の混乱を防止して、迅速かつ的確に双方向同時通訳を行うことができる。

#### 【0044】

上記実施形態では、第1通訳者は会話相手の音声のみを聴取して通訳し、第2通訳者は被通訳者の音声のみを聴取して通訳するものとして説明したが、通訳者が使用するヘッドセット2C、2Dとしてステレオイヤフォン式のものを用い、多重分離回路32において分離した第1信号と第2信号をヘッドセット接続端子36と37の両方に outputするようにしてもよい。これにより、各通訳者は被通訳者と会話相手の両方の音声をステレオイヤフォンによって分離して聞くことができ、対談全体の進行状況や通訳相手の反応を確認しながら通訳を行うことができる。

また、多重分離回路32において、ヘッドセット接続端子36に供給する第2信号に第1信号を減衰させて加算し、ヘッドセット接続端子37に供給する第1信号に第2信号を減衰させて加算するようにしてもよい。これにより、ヘッドセット2C、2Dがステレオイヤフォン式のものでない場合でも、各通訳者は直接の通訳対象者の発言のみならず通訳先の発言をも聞くことができ、対談全体の進

行状況や通訳相手の反応を確認しながら通訳を行うことができる。

#### 【0045】

図6に、本願発明の第二実施形態にかかる電話通訳補助装置の被通訳者側電話通訳補助装置20を用いて双方向同時通訳サービスを提供する電話通訳システムのシステム構成例を示す。図において、200は双方向同時通訳サービスを提供する通訳センターに設置される電話通訳システムであり、公衆電話回線40を介して、被通訳者が使用する電話端末（以下、被通訳者端末と呼ぶ）1と、第1通訳者が使用する電話端末（以下、第1通訳者端末と呼ぶ）3と、第2通訳者が使用する電話端末（以下、第2通訳者端末と呼ぶ）4とを接続し、被通訳者と会話相手の面談を第1通訳者と第2通訳者が電話を介して双方向同時通訳する電話通訳サービスを提供するものである。

#### 【0046】

電話通訳システム200は、被通訳者端末用回線I/F220と第1通訳者端末用回線I/F240と第2通訳者用回線I/F260を備え、それぞれ各端末との音声の入出力を行う音声入出力装置222、242、262が接続されている。

#### 【0047】

被通訳者端末用音声入出力装置222の音声入力には、第1通訳者端末用音声入出力装置242からの音声出力と被通訳者端末用音声テロップメモリ226からの音声出力を合成する音声合成装置224からの音声出力を第1音声信号（A）、第2通訳者端末用音声入出力装置262からの音声出力を第2音声信号（B）として音声多重合成する多重合成装置223が接続されている。

また、第1通訳者端末用音声入出力装置242の音声入力には、被通訳者端末用音声入出力装置222からの音声出力を音声多重分離する多重分離装置225の第2音声信号出力（B）と第1通訳者端末用音声テロップメモリ246からの音声出力とを合成する音声合成装置244が接続され、第2通訳者端末用音声入出力装置282の音声入力には、被通訳者端末用音声入出力装置222からの音声出力を音声多重分離する多重分離装置225の第1音声信号出力（A）と第2通訳者端末用音声テロップメモリ266からの音声出力とを合成する音声合成装

置264が接続されている。

#### 【0048】

従って、被通訳者Aの音声は第2通訳者Dに伝達され、第2通訳者Dの音声は会話相手Bに伝達され、会話相手Bの音声は第1通訳者Cに伝達され、第1通訳者Cの音声は被通訳者Aに伝達される。

これにより、第1通訳者Cが会話相手Bの発言を聴いて同時通訳しても会話相手Bの発言は妨げられず、第2通訳者が被通訳者Aの発言を聴いて同時通訳しても被通訳者Aの発言は妨げられず、通訳者にも不要な音声が伝達されないので、会話の混乱を防止して、迅速かつ的確に双方向同時通訳を行うことができる。

#### 【0049】

上記実施形態では、第1通訳者は会話相手の音声のみを聴取して通訳し、第2通訳者は被通訳者の音声のみを聴取して通訳するものとして説明したが、第1通訳者に送信する音声に被通訳者の音声や第2通訳者の音声を減衰させて加算するかまたは音声多重合成して送信し、第2通訳者に送信する音声に会話相手の音声や第1通訳者の音声を減衰させて加算するかまたは音声多重合成して送信するようにもよい。このようにすれば、前述の場合と同様に、各通訳者は対談全体の進行状況や通訳相手の反応を確認しながら通訳を行うことができる。

#### 【0050】

電話通訳システム200は、通訳者が使用する通訳者用端末の端末番号を登録する通訳者テーブル212を有し、各回線I/F220、240、260、各音声入出力装置222、242、262、各音声合成装置224、244、264、各テロップメモリ226、246、266のそれぞれと接続される制御装置210を備え、被通訳者端末からの呼出を受付ける機能と、被通訳者の言語種別と会話相手の言語種別を取得する機能と、通訳者の選定条件を取得する機能と、当該取得された言語種別と選定条件とから通訳者登録テーブル212を参照して第1通訳者と第2通訳者の端末番号を取出す機能と、当該取出した端末番号によって第1通訳者端末と第2通訳者端末を呼出す機能とによって、被通訳者端末と呼出先端末と第1通訳者端末と第2通訳者端末とを接続する機能を提供する。

#### 【0051】

各音声合成装置224、244、264の入力には、それぞれ被通訳者端末用音声テロップメモリ226、第1通訳者端末用音声テロップメモリ246、第2通訳者端末用音声テロップメモリ266が接続されており、各音声テロップメモリ226、246、266の内容は制御装置210から設定できるようになっている。これにより、通訳を介した電話対談を設定する際に、各端末に対するメッセージを各音声テロップメモリ226、246、266に設定することで、各端末に対して必要な音声メッセージを出力して3者間通話を確立することができる。

### 【0052】

次に、双方向同時通訳による電話対談を設定するための制御装置210による接続処理について説明する。

この場合も、処理に先だって制御装置210の通訳者登録テーブル212には、適当な端末（図示省略）から、通訳者の選定情報と各通訳者が使用する端末の端末番号を登録しておく。図7に通訳者登録テーブル212に登録される登録項目の例を示す。図のように、通訳者登録テーブル212に登録される登録項目は、図3に示した通訳者登録テーブル112の登録項目と同等であるが、対応可能な言語については、ヒアリングのレベルとスピーキングのレベルとを区分して登録するようにした。これにより、会話相手の言語を被通訳者の言語に通訳する第1通訳者と被通訳者の言語を会話相手の言語に通訳する第2通訳者のそれについて最適な通訳者を選定することが可能となる。

### 【0053】

図8に、制御装置210による接続処理の処理フローを示す。電話通訳システム200は、被通訳者が被通訳者端末用回線I/Fの電話番号に架電することにより通訳サービスの申込を受け、第1通訳者端末と第2通訳者端末を呼出して双方向同時電話通訳サービスのための接続を確立する。

図のように、最初に被通訳者端末用回線I/F220に呼出があったことを検出する(S200)。呼出が検出されたら、被通訳者端末に対して第一実施形態と同様に被通訳者の言語種別の入力を要求するメッセージを出力し(S202)、これに対して被通訳者が入力した被通訳者の言語種別を取得する(S204)

。次に、取得された被通訳者の言語種別により、被通訳者端末に対して第一実施形態と同様に会話相手の言語種別の入力を要求するメッセージを出力し（S206）、これに対して被通訳者が入力した会話相手の言語種別を取得する（S208）。次に、被通訳者端末に対して第一実施形態と同様に通訳者の選定条件の入力を要求するメッセージを出力し（S210）、これに対して被通訳者が入力した通訳者選定条件を取得する（S212）。

#### 【0054】

次に、通訳者登録テーブル212を参照して、会話相手の言語のヒアリングレベルと被通訳者の言語のスピーキングレベルが指定された通訳レベルを有し、性別・年齢・地域・専門分野が取得された選定条件に合致し、受付フラグがセットされている通訳者を第1通訳者として選定し（S214）、当該選定された通訳者の端末番号を取出して呼出す（S216）。

当該第1通訳者端末から応答があったときは（S218）、通訳者登録テーブル212を参照して、被通訳者の言語のヒアリングレベルと会話相手の言語のスピーキングレベルが指定された通訳レベルを有し、性別・年齢・地域・専門分野が取得された選定条件に合致し、受付フラグがセットされている通訳者を第2通訳者として選定し（S220）、当該選定された通訳者の端末番号を取出して呼出す（S222）。

そして、当該第2通訳者端末から応答があったときは（S224）、双方向同時通訳による電話通訳サービスが開始される（S226）。

#### 【0055】

S218で第1通訳者端末から応答がない場合は、次候補があるか否かを判断し（S230）、次候補がある場合はS214に戻って繰返し、次候補がない場合は被通訳者端末にその旨を通知して切断する（S232）。S224で第2通訳者端末から応答がない場合は、次候補があるか否かを判断し（S234）、次候補がある場合はS220に戻って繰返し、次候補がない場合は被通訳者端末および第1通訳者端末にその旨を通知して切断する（S236）。

#### 【0056】

尚、第1通訳者の選定（S214）および第2通訳者の選定（S220）につ

いては、簡単のため通訳者登録テーブル212を参照して所定の条件に該当する通訳者を選定するとして説明したが、第1通訳者と第2通訳者のそれぞれについて、第一実施形態の場合と同様に該当者の登録情報を音声メッセージで通知して、被通訳者に最終選定させるようにしてもよい。

#### 【0057】

制御装置210には、通訳サービスの利用料金を計算するためのタイマー（図示省略）を備えており、接続が開始されてから切断されるまでの時間が計測される。また、通訳者登録テーブル212には、通訳者の時間単価が登録され（図示省略）、通訳サービスの終了後にタイマーにより計測された時間と、通訳者登録テーブル212に登録された第1通訳者の時間単価と第2通訳者の時間単価の合計とから利用料金が演算されて課金データベース214に登録され、後日利用者に対して請求される。

尚、通訳者の時間単価は、通訳者の通訳レベルと時間単価の関係を規定した課金テーブルを別途設け、通訳者登録テーブル212に登録された通訳レベルから課金テーブルを参照して求めるようにしてもよい。

#### 【0058】

上記実施形態では、選択された通訳者端末から応答がない場合は、単に被通訳者にその旨を通知して切断するとして説明したが、通訳予約テーブルを設けて被通訳者の端末番号を登録し、当該選択された第1通訳者および第2通訳者の両方からの応答があったときに被通訳者に通知して電話対談を設定するようにしてもよい。

#### 【0059】

上記実施形態では、電話通訳システム200は回線I/F、映像入出力装置、音声入出力装置、音声合成装置、制御装置等から構成されるものとして説明したが、これらは必ずしも個別のH/Wで構成する必要はなく、コンピュータを用いてソフトウェア処理によって各装置の機能を実現するように構成してもよい。

#### 【0060】

上記実施形態では、第1通訳者端末3および第2通訳者端末4は被通訳者端末1と同様に通訳センターの外にあって、通訳センターから公衆電話回線を介して

呼出されて通訳サービスを提供するものとして説明したが、本願発明はこれに限定されるものではなく、通訳者端末の一部または全部を通訳センター内に設けて、通訳センターから通訳サービスを提供するようにしてもよいことは言うまでもない。

尚、上記実施形態では、通訳者は公衆電話回線に接続可能な端末を有する限り何処にいても通訳サービスに参加できるので、前述の受付フラグを利用して時間の空いたときを有効に活用して通訳サービスを提供できる。このようにすることで、人員確保の難しい通訳サービスを効率的かつ安定的に運用することができるようになる。

#### 【0061】

最後に、電話通訳サービス中の音声を記録して利用者の要求により再生して送信する記録再生機能について述べる。

図9に、図2の電話通訳システムにおける記録再生機能の実施例を示す。図のように、被通訳者端末に送信される音声合成装置124の出力音声と通訳者端末に送信される音声合成装置144の出力音声は、前者を左音声、後者を右音声として音声多重合成器118において音声多重合成され、音声記録再生装置119に送られる。

通訳サービス中の音声多重合成器118の出力音声は、制御装置110からの指令により音声記録再生装置119に自動記録され、利用者別に保存される。音声記録再生装置119に保存された音声は、被通訳者端末において所定のダイアル番号が押されたことを音声入出力装置122が検出したときに、制御装置110からの指令により再生され、検出された端末の音声合成装置124を介して端末に送信される。

これにより、利用者端末が音声多重分離機能を有する場合は、通訳サービス中の各端末の音声を、左音声では被通訳者端末側の音声が、右音声では通訳者端末側の音声が確認できる。尚、利用者は後に通訳センターに架電して所定のアクセスコードを端末から入力することによっても音声記録再生装置119に保存された音声を再生して確認することができる。

#### 【0062】

尚、音声記録再生装置に記録する音声の合成方法は、上記のものに限定されるものではなく、利用者が通訳サービスの内容を確認できるものである限りどのようなものでもよい。また、利用者端末が音声多重分離機能を有さない場合のために、被通訳者端末側の音声と通訳者端末側の音声を個別に記録し、端末から指定された音声を再生して送信するようにしてもよい。

また、電話通訳補助装置10の合成回路12が前述のように音声多重合成するものである場合には、被通訳者端末用音声入出力装置122からの音声出力を被通訳者の音声と会話相手の音声に分離する多重分離装置を設けるとともに、電話通訳補助装置10内の切換回路14およびPB検出回路15と同等の切換装置およびPB検出装置を設けて通訳者の音声を被通訳者向けと会話相手向けに切換えるようにし、多重分離装置からの被通訳者音声出力と切換装置からの被通訳者向け音声出力を合成して左音声、多重分離装置からの会話相手音声出力と切換装置からの会話相手向け音声出力を合成して右音声として音声多重合成器118で音声多重合成して音声記録再生装置119に記録するようにしてもよい。これにより、利用者端末が音声多重分離機能を有する場合は、通訳サービス中の各端末の音声を、左音声では被通訳者の言語により、右音声では会話相手の言語により確認できる。

また、利用者には当該通訳サービスを受けた以外の人を含めてもよく、アクセスを許可された人が電話端末を用いて通訳センターに架電し、所定のアクセスコードを入力したときにも音声記録再生装置119に保存された映像および音声を再生して送信するようにしてもよい。

### 【0063】

図10に、図6の双方向同時通訳による電話通訳システムにおける記録再生機能の実施例を示す。図のように、被通訳者端末用多重分離装置225の第1音声出力(A)と第1通訳者端末用音声入出力装置242からの音声出力は音声合成器216で合成され、被通訳者端末用多重分離装置225の第2音声出力(B)と第2通訳者端末用音声入出力装置262からの音声出力は音声合成器217で合成され、音声合成器216の出力音声を左音声、音声合成器217の出力音声を右音声として音声多重合成器218において音声多重合成され、音声記録再生

装置219に送られる。

通訳サービス中の音声多重合成器218の出力音声は、制御装置210からの指令により音声記録再生装置219に自動記録され、利用者別に保存される。音声記録再生装置219に保存された音声は、被通訳者端末において所定のダイアル番号が押されたことを音声入出力装置222が検出したときに、制御装置210からの指令により再生され、検出された端末の音声合成装置224を介して端末に送られる。

これにより、利用者端末が音声多重分離機能を有する場合は、通訳サービス中の各端末の音声を、左音声では被通訳者の言語により、右音声では会話相手の言語により確認できる。尚、利用者は後に通訳センターに架電して所定のアクセスコードを端末から入力することによっても音声記録再生装置219に保存された音声を再生して確認することができる。

#### 【0064】

尚、音声記録再生装置に記録する音声の合成方法は、上記のものに限定されるものではなく、利用者が通訳サービスの内容を確認できるものである限りどのようなものでもよい。また、利用者端末が音声多重分離機能を有さない場合のために、音声合成器216の出力音声と音声合成器217の出力音声を個別に記録し、端末から指定された音声を再生して送信するようにしてもよい。

また、利用者には当該通訳サービスを受けた以外の人を含めてもよく、アクセスを許可された人が電話端末を用いて通訳センターに架電し、所定のアクセスコードを入力したときにも音声記録再生装置219に保存された音声を再生して送信するようにしてもよい。

#### 【0065】

上記実施形態では、被通訳者端末・通訳者端末には、公衆電話回線に接続する一般の電話端末（特に、携帯電話器）を用いるものとして説明したが、本願発明はこれに限定されるものではなく、専用回線に接続する専用の電話端末を用いる場合にも適用でき、インターネット回線に接続するIP(Internet Protocol)型の電話端末を用いる場合にも適用でき、同様の電話通訳システムまたは同様の電話通訳方法によって本願発明の効果を奏する。

また、映像と音声による通話機能を有するテレビ電話を用いた通訳サービスの音声の送受信機能に本願発明を適用するようにしてもよい。この場合、被通訳者や会話相手は通訳者の映像を確認でき、通訳者も被通訳者や会話相手の映像を確認できるので、通訳内容の把握が更に容易になり、より迅速で的確な通訳サービスを提供することができる。

### 【0066】

#### 【発明の効果】

本願発明によれば、異なる言語を使用する人同士が面談する際の電話通訳において、通訳者が発言者の発言中に同時通訳しても発言者の発言を妨げたり、会話を混乱させることなく、迅速かつ的確に通訳できるという効果がある。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図1】

本願発明の第一実施形態にかかる電話通訳補助装置のブロック構成図である。

##### 【図2】

本願発明の第一実施形態にかかる電話通訳補助装置を用いた電話通訳システムの一実施例を示すシステム構成図である。

##### 【図3】

図2の電話通訳システムにおける通訳者登録テーブルの一例を示す図である。

##### 【図4】

図2の電話通訳システムにおける制御装置の接続処理の例を示す処理フロー図である。

##### 【図5】

本願発明の第二実施形態にかかる電話通訳補助装置のブロック構成図である。

##### 【図6】

本願発明の第二実施形態にかかる電話通訳補助装置の被通訳者側電話通訳補助装置を用いた電話通訳システムの一実施例を示すシステム構成図である。

##### 【図7】

図6の電話通訳システムにおける通訳者登録テーブルの一例を示す図である。

##### 【図8】

図6の電話通訳システムにおける制御装置の接続処理の例を示す処理フロー図である。

【図9】

図2の電話通訳システムにおける記録再生機能の一実施例を示すブロック構成図である。

【図10】

図6の電話通訳システムにおける記録再生機能の一実施例を示すブロック構成図である。

【符号の説明】

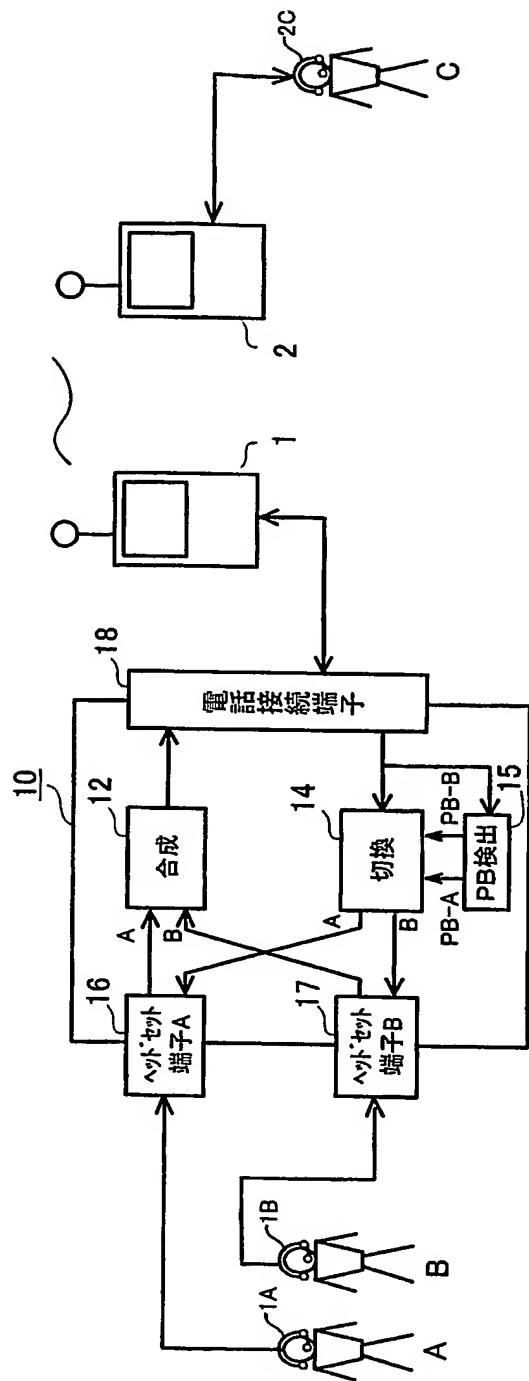
- 1 被通訳者端末
- 2 通訳者端末
- 1 0 電話通訳補助装置
- 1 2 合成回路
- 1 4 切換回路
- 1 5 P B 検出回路
- 1 6 被通訳者ヘッドセット端子
- 1 7 会話相手ヘッドセット端子
- 1 8 電話接続端子
- 4 0 公衆電話回線
- 1 0 0 電話通訳システム
- 1 1 0 制御装置
- 1 1 2 通訳者登録テーブル
- 1 1 4 課金データベース
- 1 2 0 被通訳者端末用回線インターフェース
- 1 4 0 通訳者端末用回線インターフェース
- 1 2 2、1 4 2 音声入出力装置
- 1 2 4、1 4 4 音声合成装置
- 1 2 6、1 4 6 音声テロップメモリ
- 2 0 被通訳者用電話通訳補助装置

- 22 多重合成回路
- 24 多重分離回路
- 26 被通訳者ヘッドセット端子
- 27 会話相手ヘッドセット端子
- 28 被通訳者電話接続端子
- 30 通訳者用電話通訳補助装置
- 32 多重分離回路
- 34 多重合成回路
- 36 第1通訳者ヘッドセット端子
- 37 第2通訳者ヘッドセット端子
- 38 通訳者電話接続端子
- 3 第1通訳者端末
- 4 第2通訳者端末
- 200 双方向同時通訳による電話通訳システム
- 210 制御装置
- 212 通訳者登録テーブル
- 214 課金データベース
- 220 被通訳者端末用回線インターフェース
- 240 第1通訳者端末用回線インターフェース
- 260 第2通訳者端末用回線インターフェース
- 222、242、262 音声入出力装置
- 224、244、264 音声合成装置
- 226、246、266 音声テロップメモリ
- 223 多重合成装置
- 225 多重分離装置

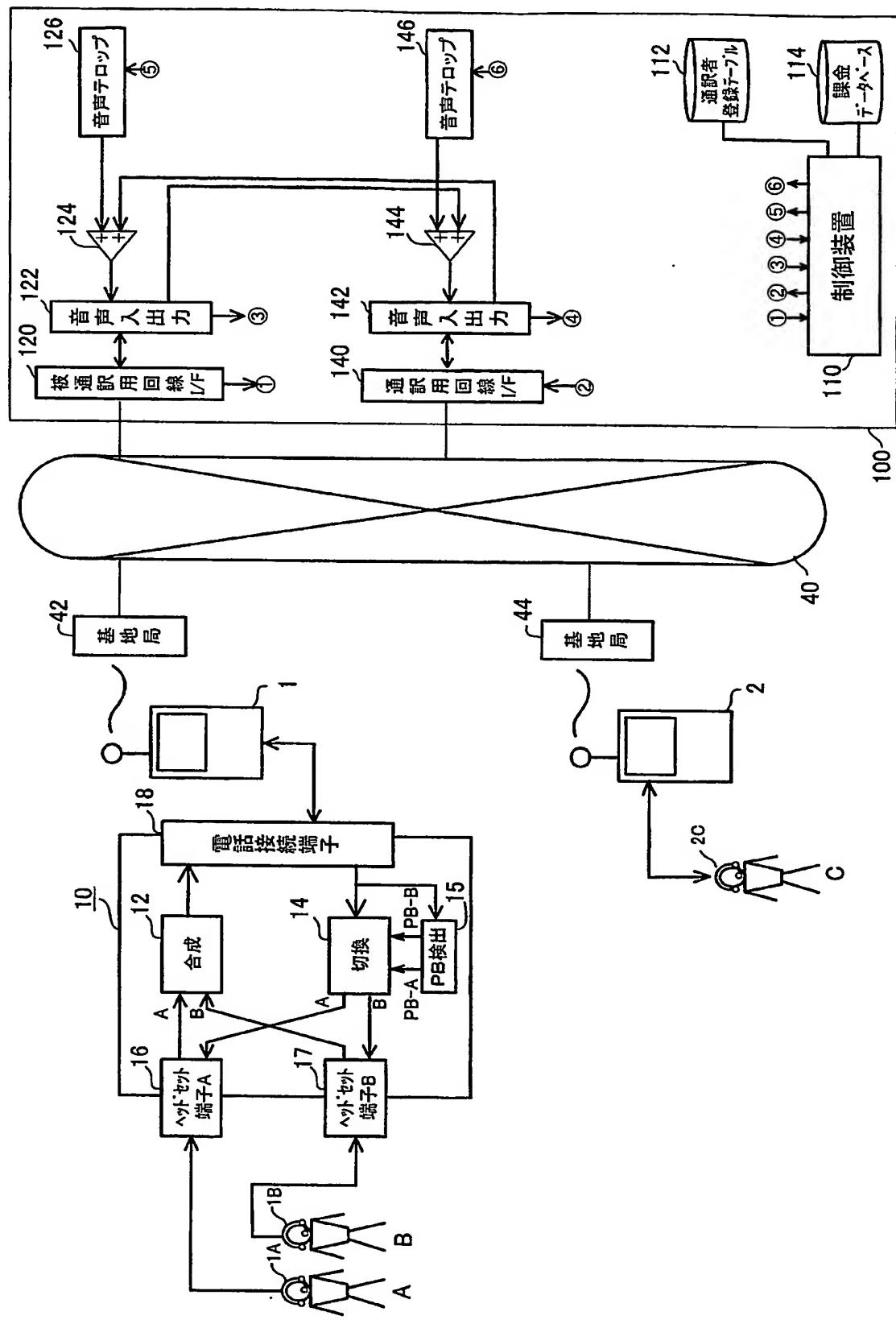
【書類名】

図面

【図1】



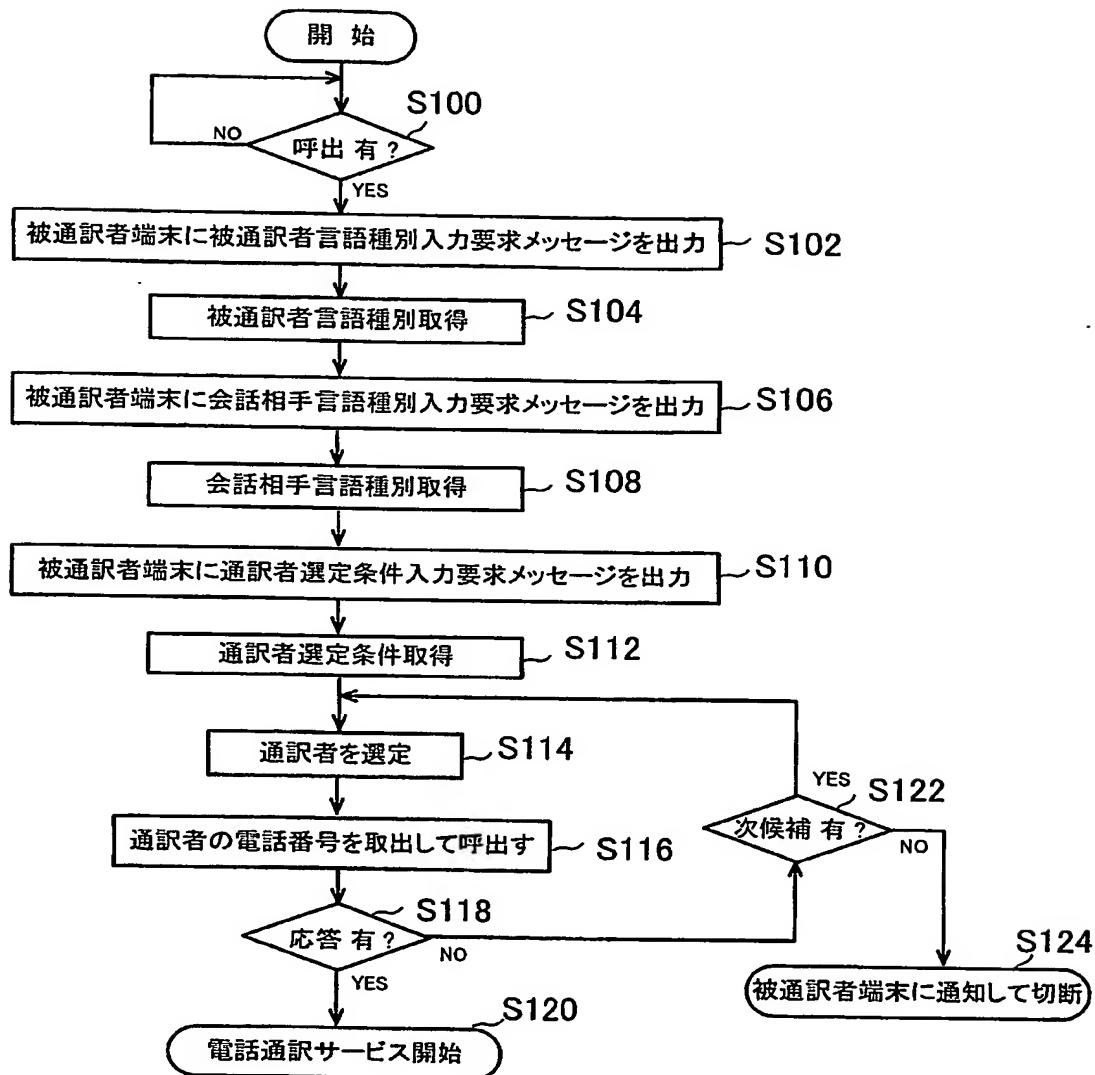
【図2】



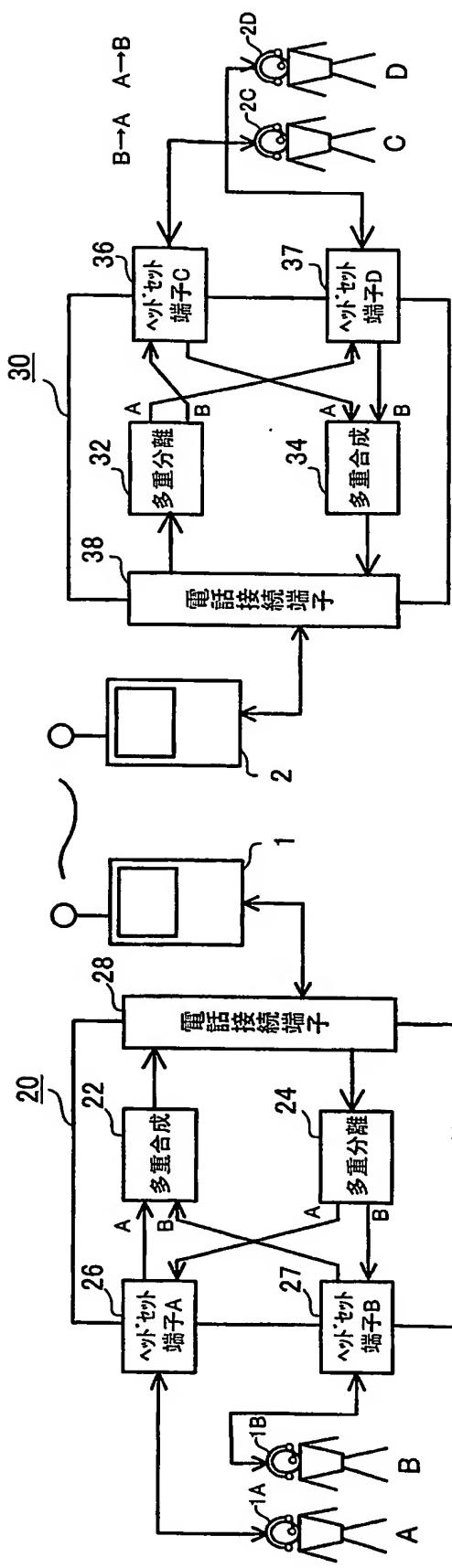
### 【図3】

通訳者登録テーブル

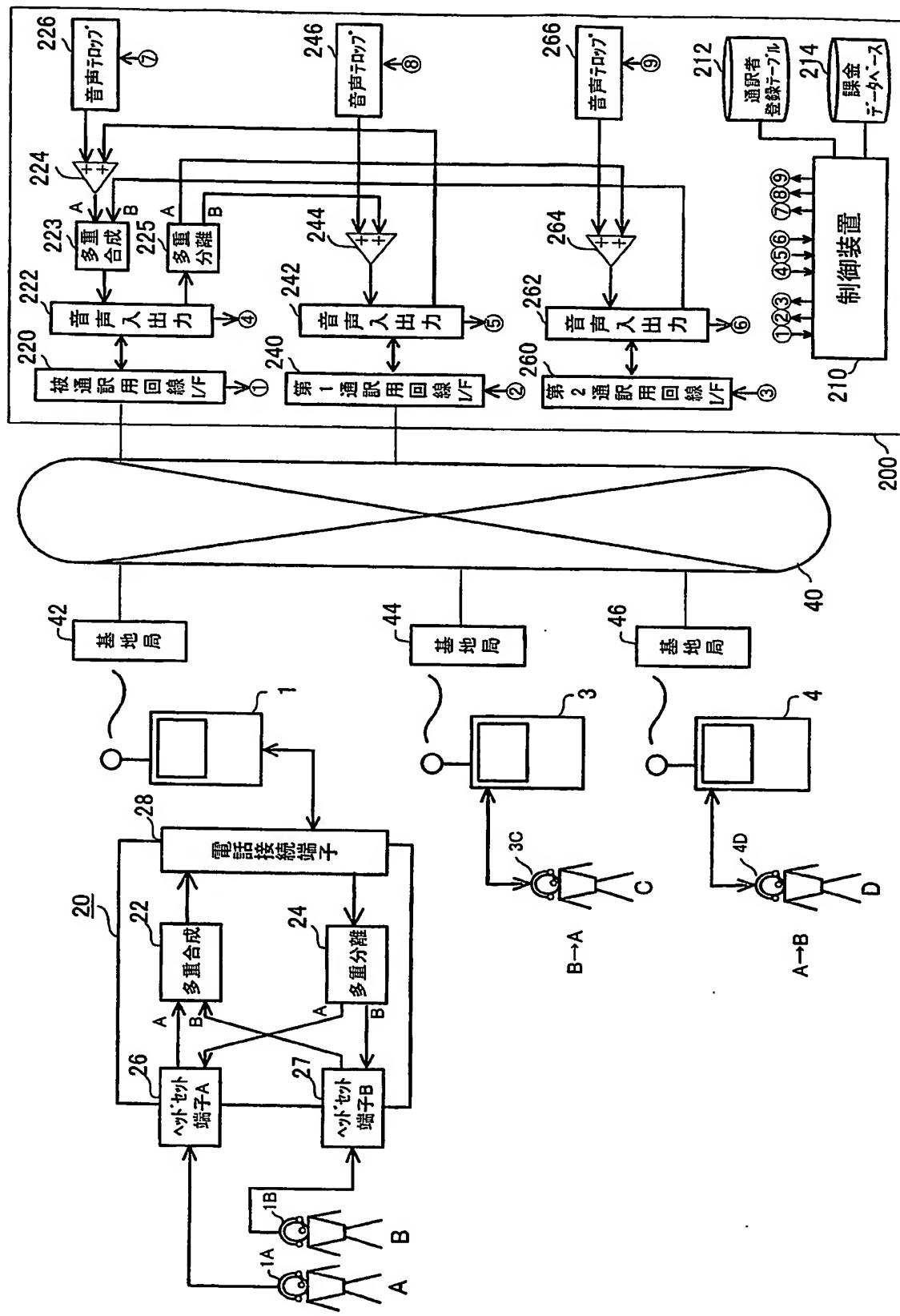
【図 4】



【図 5】



【図 6】



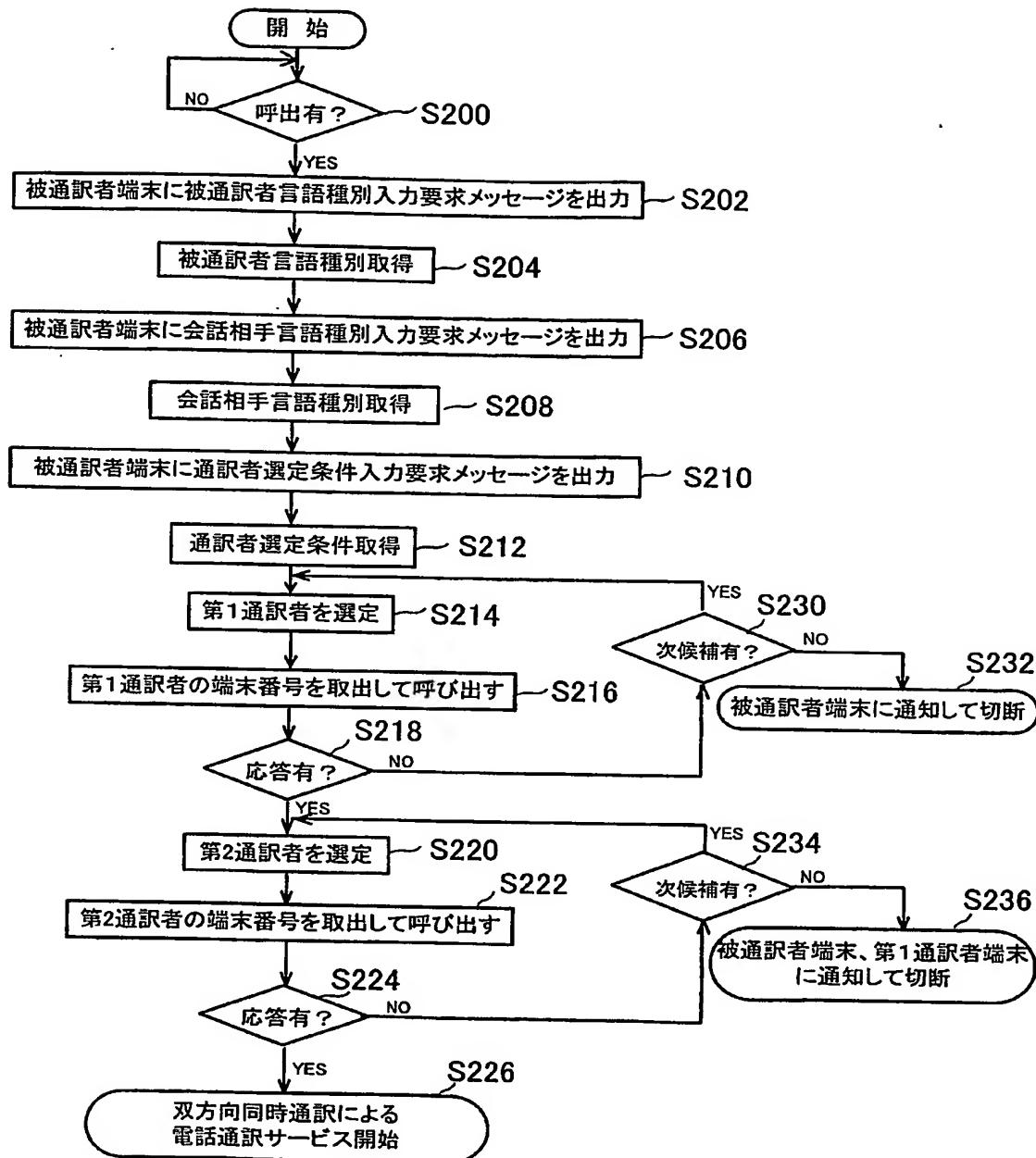
【図 7】

## 通訳者登録テーブル

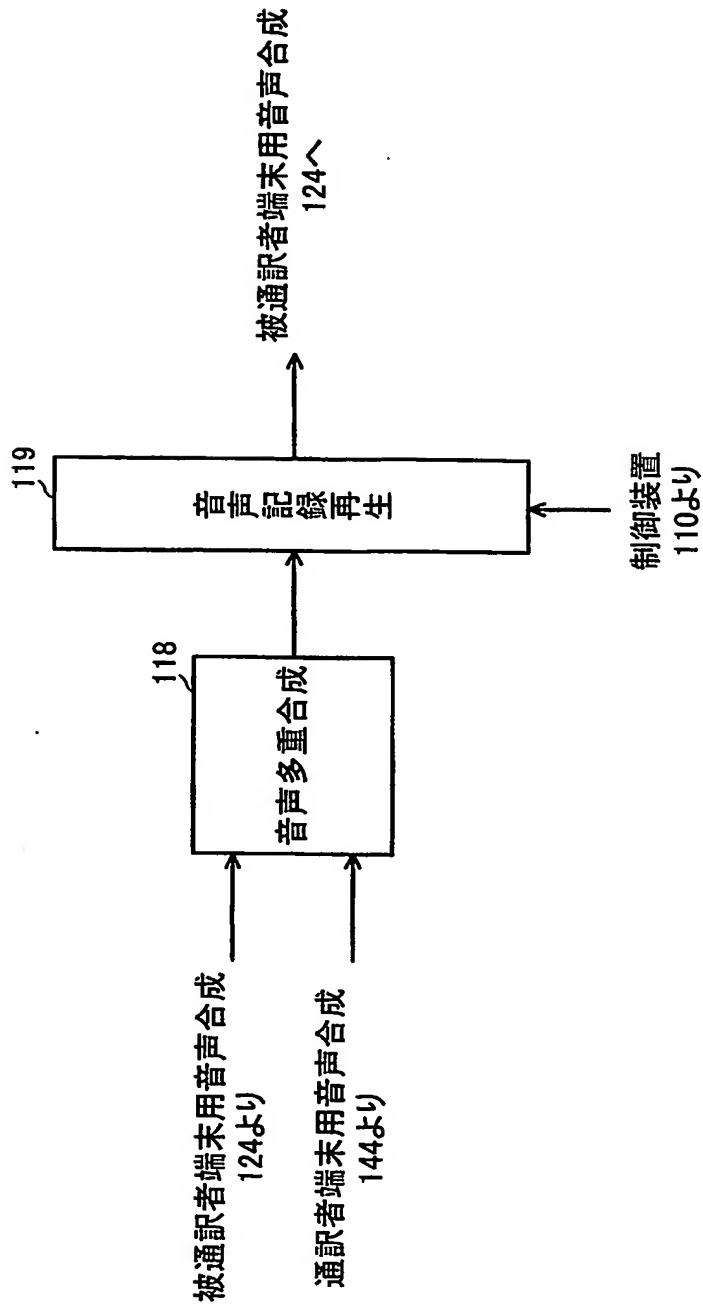
名前	性別	年齢	言語							専門分野							端末番号	受付 フラグ	
			日	英	独	仏	西	露	中	政治	法律	ビジネス	教育	科学	技術	医療	語学		
XXXX	男	45	1	1	1					○	○	○						XX-XXXX-XXXX	○
XXXX	女	25	2	1	1	2	3					○						XX-XXXX-XXXX	○
XXXX	男	33	1	1				1				○						XX-XXXX-XXXX	×
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	

(注) 言語の上段はヒアリングのレベル、下段はスピーキングのレベルを示す

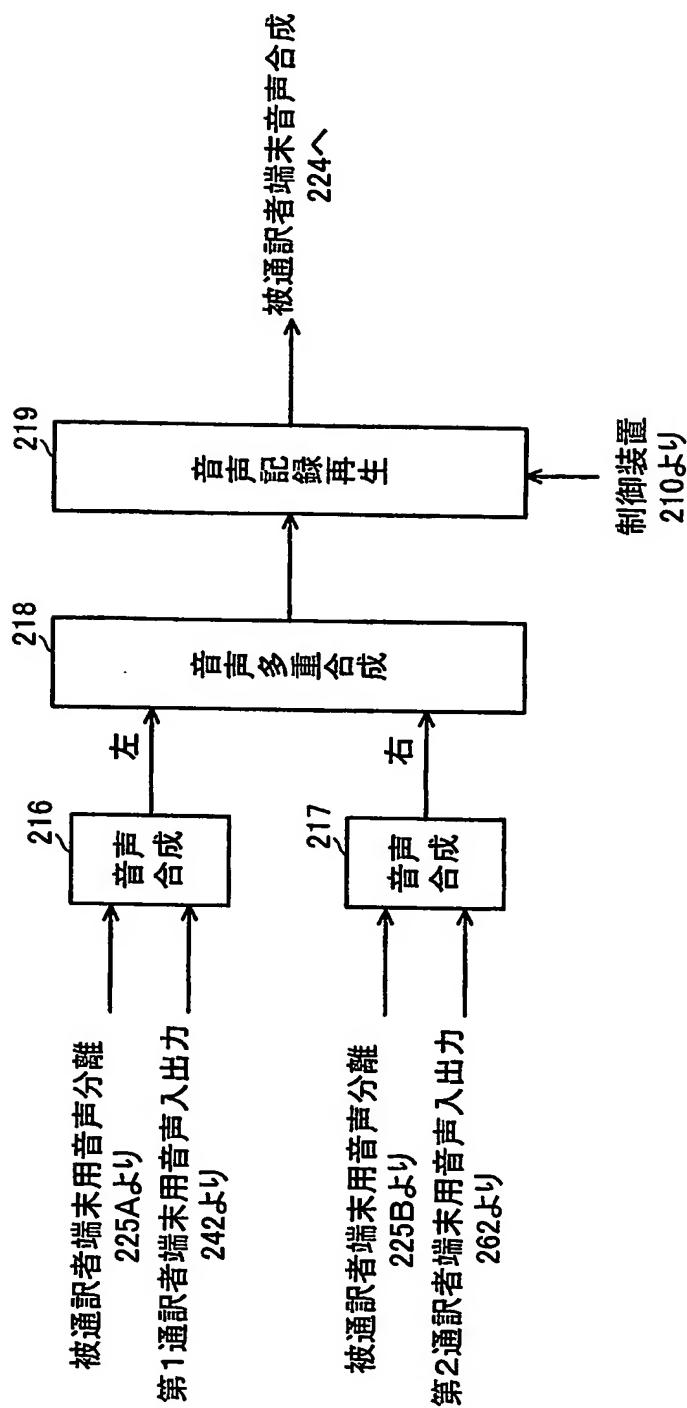
【図8】



【図9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 異なる言語を使用する人同士が面談する際の電話通訳において、通訳者が発言者の発言中に同時通訳しても発言者の発言を妨げたり、会話を混乱させることなく、迅速かつ的確に通訳できるようにする。

【解決手段】 電話通訳補助装置10は、被通訳者用ヘッドセット接続端子16と、会話相手用ヘッドセット接続端子17と、電話機接続端子18と、各ヘッドセット接続端子から入力される音声信号を合成して電話機接続端子に出力する合成回路12と、電話機接続端子から入力される音声信号から切換信号を検出する検出回路15と、検出された切換信号に基づいて電話機接続端子から入力される音声信号を各ヘッドセット接続端子の指定側に出力する切換回路14を備える。また、これを用いて電話通訳システム100により電話通訳サービスを提供し、電話通訳補助装置20、30、電話通訳システム200によって双方向同時通訳サービスを提供する。

【選択図】 図2

特願 2002-282882

出願人履歴情報

識別番号 [598013633]

1. 変更年月日 2002年 5月20日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 大阪府大阪市西区立売堀3丁目4番1号  
氏 名 株式会社ギンガネット
2. 変更年月日 2003年10月 1日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 大阪府大阪市浪速区湊町一丁目4番38号  
氏 名 株式会社ギンガネット